

**神奈川県**  
**保険医新聞**

発行所 神奈川県保険医協会 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 (TSプラザビルディング2階)  
電話045-313-2111(代表) F A X 045-313-2113 横浜中央郵便局私書箱第319号  
購読料 一部300円(会員の購読料は会費に含まれています) 発行人 田中麻衣子

今号のピックアップ

- 2面 ①〈事後抄録〉歯科臨床研究会「口腔内スキャナー(IOS)によるデジタル歯科の現状と未来」
- ②無床診最大15万円 病院賃上げ支援金、診療所等賃上支援金
- 5面 「1月22日 日弁連シンポジウムに参加して」 大和市・小柳光仁先生

2・19国会行動

# 衆院選 当選議員を祝意訪問

## 県内選出の32議員 今後の懇談機会に期待

2月19日、協会は国会行動を実施し、二村副理事長、藤田・小柳両理事が参加した。今回は先の衆議院議員選挙を受け、県内選出の議員（比例含む）32名への祝意訪問を行った。また、4名の議員、2名の議員秘書と懇談した。

今回の要請内容は次の通り。▽診療所の経営状況を改善するよう改定内容とすること、▽OTC類似薬への患者負担の追加を実施しないこと、▽高額療養費制度の月額負担上限額を引き上げないこと、▽タミフル等を市販薬へと転用(OTC化)しないこと、▽従来の健康保険証の復活の5点。

### 「医療守るため 論戦したい」

笠浩史議員

笠浩史議員(衆・中道)との懇談では、主にOTC類似薬への追加負担問題が話題に。協会から追加負担による保険料の負担軽減はわずかにすぎず、治療が遠く弊害のほうが大きいと指摘した。タミフルのOTC化については、医師の

### 医療現場の混乱に 理解

早稲田夕季議員

早稲田夕季議員(衆・中道)とは、主にマイナ保険証の問題で懇談。協会からは医療現場のトラブルは一向に収束せず、やむを得ず10割負担となる事例もあると説明。3月末までの旧保険証の暫定使用が終われば混乱はさらに広がること、全被保険者への資格確認書の発行などの必要性を訴え

### 薬剤5割負担に反対

政策部長

政策部は3月2日、磯崎部長談話「薬剤5割負担の艇、『一部保険外療養』に反対する/市販薬(OTC)を口実の差額負担拡大は健保法附則に背く」を発表し、日医や各県医師会、財務省、厚労省、中協委員、国会議員、マスコミ等へ送付(3面)。ジャーナリストや東京内科医会、日本総合研究所などから反響があった。

### 市販薬の代替性口実で制度改定

政策部長談話発表

「一部保険外療養」により、薬価の25%を保険外とし、保険分(75%)は従来からの3割負担(75%×3割=22.5%)のまま、合わせて約5割負担(47.5%)となる。市販薬(OTC)と、含有量や規格、投与用量、投与経路が全く同一の医療

### 真の窮状打開となる 診療報酬改定を

理事長・医療運動部会長合同声明を

協会は3月3日、「第一線医療の士気を削ぐ告示案に抗議/真に医療機関の窮状打開となる診療報酬改定を求めると題した理事長・医療運動部会長合同声明を公表した(4面)。

### 杏林往来

組織の努力も

限らず、各医療団体の課題の一つに組織率の低下が挙げられる。当協会は組織の努力も

